



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日
東

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 8291 URL <https://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 米澤 領一 (TEL) 03-5496-5203
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	31,882	△10.9	1,085	102.7	1,073	85.9	720	127.5
2022年3月期第1四半期	35,791	40.4	535	—	577	—	316	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 562百万円(△42.3%) 2022年3月期第1四半期 974百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第1四半期	10.88	—	—	—
2022年3月期第1四半期	4.78	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	88,894	—	48,299	—	52.5	—
2022年3月期	94,759	—	48,312	—	49.2	—

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 46,658百万円 2022年3月期 46,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00	—
2023年3月期	—	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	140,000	1.2	4,500	2.1	4,200	0.3	2,200	4.7	33.20	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	66,635,063株	2022年3月期	66,635,063株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	366,574株	2022年3月期	366,574株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	66,268,489株	2022年3月期1Q	66,268,839株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における全国の新車販売台数は、半導体不足等により継続している車両供給不足の影響等により前年同四半期比14.1%減、当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数は同17.9%減となりました。

このような状況の中、当社グループではカーオブザイヤーを受賞したe-POWER車のノート・ノートオーラや電気自動車の新型車アリア・サクラ、引き続き好評を得ているリーフ、セレナ等を中心に受注台数と収益の確保に取り組んできた結果、当社グループの新車販売台数は前年同四半期比4.0%増、5,293台となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、主要な事業である自動車関連事業において連結子会社1社の除外等の要因もあり、売上高は31,882百万円（前年同四半期比3,908百万円減、10.9%減）となりましたが、お客さまのニーズに合わせた提案型営業の徹底、中古車事業・整備事業の拡販および販売費・一般管理費の削減により過去最高益となり、営業利益は1,085百万円（前年同四半期比549百万円増、102.7%増）、経常利益は1,073百万円（前年同四半期比496百万円増、85.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては720百万円（前年同四半期比404百万円増、127.5%増）と大幅増益となりました。

当社グループは、自動車関連事業および情報システム関連事業を主な事業として展開しており、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 自動車関連事業

当社グループでは上記記載の通りの状況により、売上高は30,566百万円（前年同四半期比4,061百万円減、11.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1,246百万円（前年同四半期比527百万円増、73.4%増）となりました。

今後も車両供給不足は継続するものと予想しておりますが、7月に発表・発売となった新型エクストレイル・新型キックスも商品ラインナップに加わり、より一層の受注台数と収益の確保に取り組んでまいります。

② 情報システム関連事業

半導体不足の影響などにより依然としてハードウェアについては一部納期遅延があるものの、マネージドサービス事業が堅調に推移した結果、売上高は1,222百万円（前年同四半期比144百万円増、13.4%増）、セグメント利益（営業利益）は42百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は88,894百万円（前連結会計年度比5,865百万円減、6.2%減）となりました。主な内容は、現金及び預金が1,936百万円、受取手形及び売掛金が1,038百万円、商品が2,107百万円、その他流動資産が233百万円、有形固定資産が117百万円、投資有価証券が173百万円、繰延税金資産が237百万円減少しております。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は40,595百万円（前連結会計年度比5,851百万円減、12.6%減）となりました。主な内容は、買掛金が3,168百万円、未払法人税等が545百万円、賞与引当金が685百万円、その他流動負債が924百万円、1年内返済予定を含む長期借入金が550百万円減少しております。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は48,299百万円（前連結会計年度比13百万円減、0.03%減）となりました。主な内容は、配当金の支払がありました親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が188百万円増加し、その他有価証券評価差額金の減少などによりその他の包括利益累計額が174百万円、非支配株主持分が27百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,305	20,368
受取手形及び売掛金	4,236	3,198
商品	11,055	8,947
仕掛品	311	326
貯蔵品	39	39
その他	1,898	1,665
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	39,838	34,541
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,941	6,816
リース資産（純額）	4,623	4,666
土地	23,500	23,500
その他（純額）	4,676	4,640
有形固定資産合計	39,741	39,623
無形固定資産		
のれん	812	790
その他	260	254
無形固定資産合計	1,073	1,044
投資その他の資産		
投資有価証券	4,274	4,101
繰延税金資産	1,083	846
その他	9,449	9,437
関係会社投資等損失引当金	△635	△635
貸倒引当金	△65	△64
投資その他の資産合計	14,106	13,685
固定資産合計	54,920	54,353
資産合計	94,759	88,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,957	8,789
1年内返済予定の長期借入金	2,200	2,100
リース債務	342	320
未払法人税等	591	46
賞与引当金	1,283	598
その他	11,510	10,585
流動負債合計	27,886	22,440
固定負債		
長期借入金	3,300	2,850
リース債務	4,381	4,445
繰延税金負債	163	152
役員退職慰労引当金	27	26
退職給付に係る負債	10,188	10,181
資産除去債務	331	332
その他	169	166
固定負債合計	18,560	18,155
負債合計	46,446	40,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	248	248
利益剰余金	28,986	29,174
自己株式	△100	△100
株主資本合計	42,886	43,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,687	1,565
退職給付に係る調整累計額	2,070	2,019
その他の包括利益累計額合計	3,758	3,584
非支配株主持分	1,668	1,640
純資産合計	48,312	48,299
負債純資産合計	94,759	88,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	35,791	31,882
売上原価	28,105	24,335
売上総利益	7,685	7,546
販売費及び一般管理費	7,149	6,461
営業利益	535	1,085
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	49
受取手数料	101	59
雑収入	8	14
営業外収益合計	155	124
営業外費用		
支払利息	31	28
支払手数料	69	69
設備賃借費用	—	33
雑損失	13	5
営業外費用合計	113	136
経常利益	577	1,073
特別利益		
助成金収入	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	4	11
新型コロナウイルス対応による損失	—	1
特別損失合計	4	12
税金等調整前四半期純利益	573	1,061
法人税、住民税及び事業税	154	20
法人税等調整額	98	306
法人税等合計	252	327
四半期純利益	320	734
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	316	720

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	320	734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	695	△120
退職給付に係る調整額	△41	△51
その他の包括利益合計	654	△171
四半期包括利益	974	562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	968	546
非支配株主に係る四半期包括利益	6	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
新車	18,276	—	18,276	—	18,276
中古車	7,282	—	7,282	—	7,282
整備	7,282	—	7,282	—	7,282
その他	1,785	1,078	2,864	—	2,864
顧客との契約から生じる収益	34,627	1,078	35,705	—	35,705
その他の収益	—	—	—	85	85
外部顧客への売上高	34,627	1,078	35,705	85	35,791
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	201	202	—	202
計	34,629	1,279	35,908	85	35,994
セグメント利益又は損失(△)	719	△16	702	34	737

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	702
「その他」の区分の利益	34
全社費用(注)	△201
四半期連結損益計算書の営業利益	535

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	自動車 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高					
新車	16,608	—	16,608	—	16,608
中古車	5,240	—	5,240	—	5,240
整備	7,012	—	7,012	—	7,012
その他	1,704	1,222	2,926	—	2,926
顧客との契約から生じる収益	30,566	1,222	31,788	—	31,788
その他の収益	—	—	—	94	94
外部顧客への売上高	30,566	1,222	31,788	94	31,882
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	111	113	—	113
計	30,567	1,333	31,901	94	31,995
セグメント利益	1,246	42	1,289	41	1,331

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,289
「その他」の区分の利益	41
全社費用（注）	△245
四半期連結損益計算書の営業利益	1,085

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。